

クハ111形 (クハ111-1) 直流制御車



※写真の車両は展示している車両とは異なります。

湘南地区の通勤用電車の混雑緩和のため、昭和37年に登場した車両。

キハ181形 (キハ181-1) 特急形気動車



キハ80系特急気動車の出力増強形として、特急「しなの」に投入され、昭和50年まで使用された車両で、最高速度120km/hの気動車。

クヤ165形 (クヤ165-1) 直流教習制御車



サハシ153形直流普通食堂付随車を昭和49年に改造。運転士を教育するための直流教習制御車として生まれ変わった。

オヤ31-12 (オヤ31) 建築限界測定車



新線等で建造物が設計通りに完成しているかどうかを測定する試験車。周囲に張り出した測定用腕木により、建造物と車両の間隔を測定する。

ソ80-180 操重車 チキ6132



事故復旧のための操重車の代表形式で、65tまで扱えるクレーンを装備。移動の際、クレーンを支える控車として「チキ6132」が使用された。

0系新幹線電車運転台



東海道新幹線開業当時から「夢の超特急」として活躍した0系新幹線。イベント広場に、その0系新幹線の運転台部分を展示中。実際の運転台に座って新幹線の運転士気分をお楽しみいただけます。

楽しみながら、感動！体験！してみよう。



運転体験コーナー

ハンドル操作だけでスピードのアップ、ダウンも自由自在。画面に広がる飯田線の風景を見ながら、しばしの運転士気分を体感できます。(1回100円)



鉄道模型ジオラマ

山間を抜け、トンネルをくぐったら、次の駅で一時停車。全長120mのレール上を疾走する鉄道模型は臨場感いっぱいです。(1回100円)



展示室

これはサインを送る合図灯。あれはその昔、大勢の人々が利用したローカル線の駅。そしてきっぷ。展示物の数々で懐かしいあの時代を再現します。



ビデオイメージ

黒煙を上げ、汽笛を上げながら力強く駆け抜けていく蒸気機関車。ビデオでは、むかし活躍したD51をはじめ当時の町や人々の暮らしぶりを見ることができます。(上映プログラムは毎回変わりますのでご了承ください。)